

アイヌ施策推進地域計画 目標評価報告書（中間年度）

実施主体名	計画の名称	目標年度
長万部町	長万部町アイヌ施策推進地域計画	令和3年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進計画における目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
適した稚貝産地を1地域以上選定	1地域以上選定	3地域選定	300	
ホタテのアイヌブランド化の調査を実施	調査を実施	調査を実施	100	

アイヌ施策推進計画における目標	達成状況	備考
適した稚貝産地を1地域以上選定	適した産地を3地域選定した	
ホタテのアイヌブランド化の調査を実施	ホタテのアイヌブランド化の調査を実施した	

(コメント)

適する可能性のある稚貝産地を1地域以上選定する目標であったが、羅臼地区、苫前地区及び遠別地区の3地域を選定している。また、ホタテのアイヌブランド化の調査についても目標どおり実施しており、順調に目標を達成している。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体名
<p>水産物(ホタテ)のアイヌブランド化を目指す上で、ホタテ養殖水揚量を安定させることを目的に、移入時期を早めた9月中旬、9月下旬、10月上旬に他漁場産稚貝を移入し、生存率を検証する調査を実施した。</p> <p>主な事業として、ホタテ稚貝の移入時期の検証のため、地元産以外の遠別産3,000連のホタテ貝稚貝を搬入し、9月中旬、9月下旬、10月上旬に大中地区10漁家に稚貝移入した。</p>	<p>(委託先) 長万部漁業協同組合</p>
<p>令和元年10月に移入したホタテ稚貝の正常貝率は、羅臼産95.1%、苫前産97.5%と長万部産48%と比較して高い生存率となった。(令和2年5月)</p> <p>令和2年10月に移入したホタテ稚貝の正常貝率は、羅臼産89.5%、遠別産90.6%と長万部産63.6%と比較して高い生存率となった。(令和3年5月)</p>	
<p>ホタテ貝に係る商品に関するニーズ調査、新たな商品の企画や販売方法、広告宣伝等によるブランド構築などの調査事業を実施した。</p>	<p>(委託先) 株式会社トリプルワン</p>
<p>事業の効果</p>	
<p>地場産と他漁場産の稚貝生存率を調査し、当漁場海域に最も適した稚貝産地及び育成時期を検証するために本事業を実施した(最終的な成果・効果は耳つり作業が終了する5月末を予定。)。本事業の調査結果により、当漁場海域で生育するのに最適な稚貝の産地や移入時期(他漁場での育成期間)を確立することが、ホタテ養殖水揚量の安定化に資することになる。</p> <p>また、アイヌブランド化を目指すための調査を実施した。ホタテのアイヌブランド化を進めていくことが、ホタテのアイヌブランドとしての販売を強化することになる。</p>	

3. 今後の方針等

<p>(コメント)</p> <p>令和3年度の事業については、順調に進捗しており、次年度以降の事業についても計画どおり実行していく。</p>
--